

第3 1回環境を考えるポスター展講評

審査員長 坂本 一成

■ 審査にあたって

テーマは、「地球環境を考える（地球環境の現状や環境保全の取組に関するもの）」で、次の5つです。

- ① 地球の環境に何が起こっているのか 環境破壊の現状
- ② 環境にやさしいライフスタイル（エコライフ）
- ③ 暮らしと環境 身近な環境問題
- ④ 豊かな自然環境 自然との共生
- ⑤ 新しいエネルギーの活用推進 自然エネルギーの活用

審査にあたり、それらのテーマを小中学生の目線でとらえ、描いているか、自分のイメージが伝わるように構図や配色、キャッチコピーやレタリング等に工夫が見られるか、模倣によらず、自分なりの作品を創り出しているか、そして募集の条件にあっているか等を踏まえながら審査員4名で審査を行いました。

■ 講 評

- ・ 最近、報道等で取り上げられている環境問題を小中学生の目線でしっかりととらえ、考え、それぞれの思いが伝わるようにデザインやキャッチコピーに工夫がみられました。一枚一枚の作品から私たちの環境を大切に取りたいという強い気持ちが伝わりました。
- ・ 小学生の作品は、身近な生活から環境問題をとらえ、素直な感覚でのびのびと表現している作品が見られました。その中でも受賞された作品は、小学生らしい発想やキャッチコピー、構図の工夫が見られました。最優秀賞の作品「守ろう 地球の命」は、丁寧に動物の表情等、細かいところまでしっかりと描かれています。動物も人間もそして地球も大切にしていこうとする環境へのやさしい気持ちが感じられる作品となっています。
- ・ 中学生の作品は、環境問題をいろいろな視点でとらえ、見る人に訴えるにはどうしたらよいか構図や配色、キャッチコピー等を十分に考えて描かれています。その中でも受賞された作品は、じっくりと構想を練って、きれいな色で丁寧に仕上げられています。最優秀賞の作品「未来の海のためにプラスチック・スマート」は、水滴をデザイン化し、キャッチコピーも含めて、一枚に効果的にまとめられています。一目見て作者のメッセージが簡潔に伝わるよく考えられた作品となりました。
- ・ 私たちの周りには、視覚に訴える作品があふれています。それらを鑑賞することで、これからの制作にいかしてほしいと思っています。また、今回の児童生徒の作品が、これからも環境について考える機会になることを願っています。

以 上